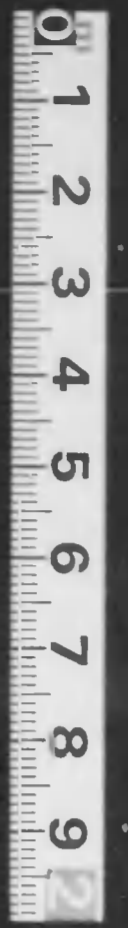


寫眞週報

內閣情報部編輯
六月廿九日 第廿七號

昭和十三年六月廿九日發行 第一號(即永日發行) 第廿七號



內蒙防共線

内閣情報部編輯

週報

内閣印刷局發行
内閣印刷局發行所
東京一〇〇〇
全国各地官報販賣所
東京官報株式會社
東京官報株式會社
東京官報株式會社

事變一週年特輯號

七月六日發行

近衛内閣總理大臣 卷頭文
事變の回顧と展望

陸軍省新聞班
海軍省海軍軍事情報部
外務省情報部

經濟戰の備へ

その他

附 陸海軍共同製作
支那事變第一年戰鬪經過圖

B2版(週報約十二倍) (三色刷)
定價本號に限り 一冊 八錢
年極め讀者は 二冊 四十錢



内閣古に、大徳の子(日本人)は、沙漠の地をひらき光をもちました。自然と立上るシンキスカンの末裔! 内閣古に朝は早く、希望と希望の朝は毎日。

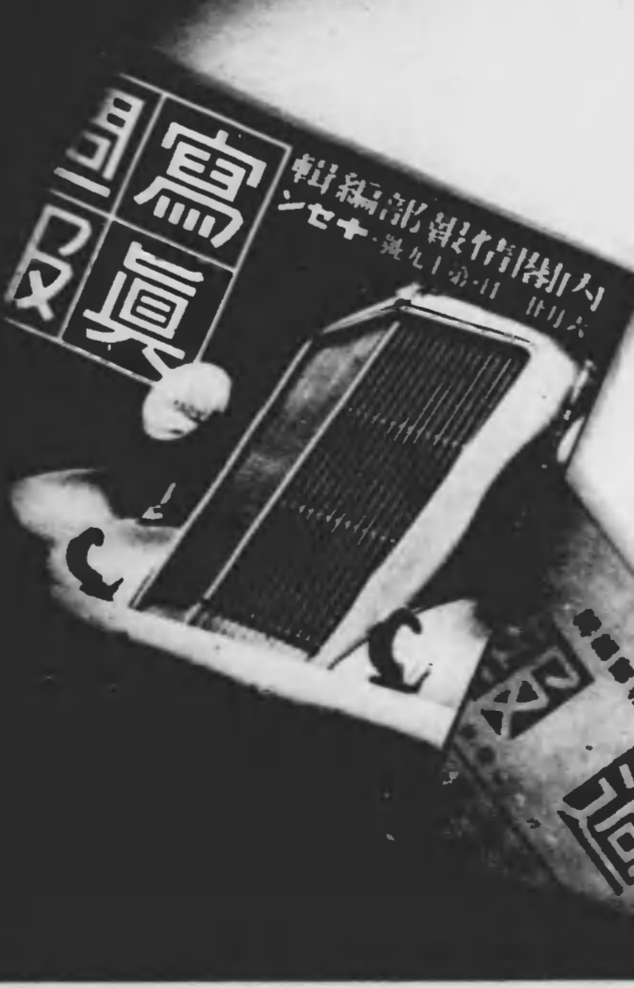
集募賞懸案圖一タスポ同合

報週眞寫

本誌及び「週報」が、内閣情報部から雑誌として編輯・發行されてゐることと、普及徹底させるため兩誌合同のポスターを左記規定により懸賞募集す。

規定

- 構圖...「寫眞週報」「週報」の宣傳を一枚にて表現するもの
- 文法...内閣情報部編輯「寫眞週報」のグラフィック
- 賞金...一等(一名)三百圓、二等(一名)百圓、三等(一名)五十圓、佳作(十名)二十圓宛
- 色型...日本標準規格判別(縦一〇三〇×横七二八耗)五色刷以下
- 賞金...一等(一名)三百圓、二等(一名)百圓、三等(一名)五十圓、佳作(十名)二十圓宛
- 制作...同七月二十七日發行兩誌誌上
- 審査...内閣情報部
- 締切...昭和十三年七月十五日
- 発表...同七月二十七日發行兩誌誌上
- 応募...東京市麹町区永田町、内閣總理大臣官舎内、内閣情報部(電話二七二七)
- 注意...「週報」の一切運賃、且ツ「寫眞週報」の運賃(内閣情報部)を別々として請求す。





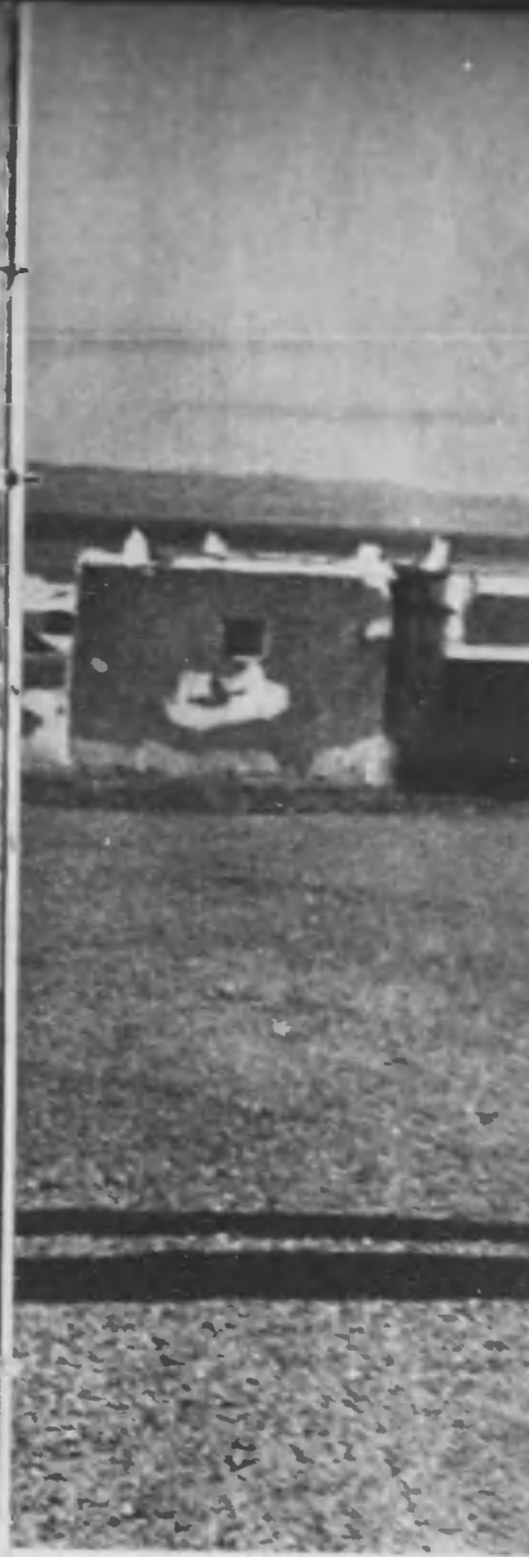
蒙古の初夏は時々寒波が襲ひ、朝に吹雪が荒れ狂ふかと思ふと晝には灼熱の太陽が焼きつける。夜來の雪を毛肌に凍りつかせて、寒さにおののく羊の群。

持ちこがれた衣類の寒がきた。家畜は、燃え上る大地を踏つて、草原に出てゆく。馬、羊、山羊、牛、猪が唯一の財産であり、生計手段である蒙古人も、ほつと一息。

内蒙古人の大半はチベットだ。來世の幸福を祈る爲に、フマ廟の周圍に天幕を張り、一週間乃至十日間の日を限つて、廟を百八回廻る。歌典を背にお百度を踏む善男、善女。



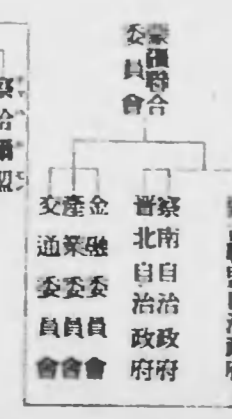
「包」の採光窓



陸軍省新聞班

昔から……と云つても百年や二百年もの昔ではない。「滿蒙」と云ふ名稱は、随分人々の口の上にあつてゐた。さて、その「蒙」の方は一般にあまり大きな關心が持たれてゐなかつたが、滿洲國の建設で「滿」の方は片附いたので今度は「蒙」の方に人々の耳目は集つた。そこへ一昨年末の統軍事件で内蒙古の自治問題が蒙王の名と共にハツキリと浮び出して來た。一方「ソ聯」の外蒙侵襲は、蒙王の脅になつて、今や名實共に外蒙はその保護領となつてしまつた。内蒙の危機は迫つた。この時突然起つた瀋陽事件を合機に蒙古民族が奮然として立ち上つたのである。

自治政府の成立：我が蒙支應應の聖職は疾風の勢を以て進展し察哈爾方面に於ては日蒙軍が十月十四日に接達、十九日に包頭を占領した。そして此の進軍により綏遠縣城に在つて漢蒙兩民族を壓迫してゐた支那軍閥は完全に掃蕩され、蒙支の政治、經濟、交通、治安等の基礎は民族の選出結成した治安維持會の手によつて行はれることとなり、十月二十三日には市民大會を開催、樂土建設、赤化掃除の標語を高らかに叫んで獨立を宣言し、年號を成吉思汗紀元七百三十二年と改め、旗章を藍地上角に紅、黃、白條列のものを採用することに決議した。十月二十八日には綏遠で開かれた蒙古大會に於て漢蒙兩民族三百萬民族代表が蒙古聯盟自治政府の成立を宣言し政府主席に蒙王、副主席に蒙王を夫々推戴、



即ち以前の行政區劃、察哈爾省、綏遠省は消滅して、萬里の長城の外城と内城で包まれた元の察哈爾省の南部の地域は察南、山西省北部の地域は察北となり、剩餘の地域は五つの盟に分れて區劃され蒙古聯盟自治政府となつたのである。茲で簡明に盟と旗の説明をする。元來蒙古には大小色の遊牧集團があつて、その力の強いものは他を征服して益々擴大になつて來たのである。所が清朝が蒙古を降服せ



□ 14 蒙古の佛像



□ 内蒙古では、僧と民との二階級に分れてゐて、内蒙男子の半数は、幼時からラマ廟に入り、僧侶としての修業を積む。廟前に集つた大僧、中僧、小僧。



□ お互ひに持つてゐる吸き煙草を交換してかき合ふのが、内蒙古人の挨拶だ。やあ、と煙草をとり出した御兩人。(上)

くんくん吸いで、"コンニチワ"

相撲と飾りと狩獵のほか、これといふたのしみのない内蒙をさすらふ漢人曲藝團は何處でも大人満員。あざやかな軽業に見とれる蒙古人達。

○ 蒙古相撲は、柔道風のやうな相撲着をつけかたい土の上で叩きつけ、叩きつけられ、血まみれになつて勝負を争ふ。傷だらけになつて、一息入れた力士達。(上)

やつ！ と組合つた選手。(中)

一勝負終つて、無敵の傷に、日本人から貰つた薬を、もの珍し氣につけてみる。(下)





牛車に乗って
牧場を回す
マダモ

内蒙紀行

支那人は昔から國家觀念が乏しく、甚大な領土と四億の人口を擁しながら、ごく最近まで近代國家を形成するに至らず、列強國の舞臺を提供してゐるにすぎなかつたのであるが、一人々々の支那人は國家すべき生活力をもつてゐる。

現在蒙疆政府に關してゐるところで、凡そ耕して人間的生活しうる土地は、あまたところなく漢人の手に歸してゐる。これまでの世界地圖を見ると、内蒙は支那領のやうになつてゐるが、蒙古はかつて清朝と同盟を結んだだけで、決して支那に歸したわけではない。ところが清朝の陰險巧妙な國家策のために、蒙古人の國力の失はれた際に乗じて、漢人は商人として、農民として徐々に蒙地に侵入し、蒙古人を次第に不毛の地へ駆逐して、いゝところは全部、いつのまにか事實上占領してしまつた。そしてその後、國民政府が役人や軍隊をもつてきて統治するといふ風にして今日に至つたのである。この蒙疆政府の保護策のもとに送られる日本の滿洲移民の場合と著しく違つてゐる。

だから張家口から包頭まで、名は蒙疆地帯でも、見わたす限りよく耕された畑と支那風の家屋があるだけで蒙古らしい景色は見られない。蒙古人は土地に鋤鋤を入れることを嫌ひ、もつぱら放牧を業とし、丸い木製の骨組に羊毛(羊毛フェルト)を織せた包の中に住んでゐる。今ではからした種蒙古風の生活を見るには、鐵道沿線から離れてかなり奥へ入らなければならない。

張家口からトラクトで北へ進むと、二時間ばかりで張北に達する。こゝはこんどの事變で大激戦があつたところで、皇軍と蒙古兵が協力して數倍の大敵に包圍されてゐた方を救つたが、そのとき救はれた皇軍勇士たちはその蒙古兵と相闘して鮮し泣きに泣いたといふ話も傳へられてゐる。またこゝには事變前から張北軍官學校があつて、各地から選拔された蒙古青年を日本式に訓練してゐたが、かれらは今や滿蒙蒙古の中心となつて活躍してゐる。事變後も新人牛が入つて猛進が行はれてゐる。それから約二百キロばかり行くと歸化につく。この邊

として珍らしい肥沃な土地で、かつて宋哲元が漢人移民を大量に入れて、トラクターを買ひこんで大規模な耕作を行はうとしたこともあるといふ。事變前は、新興蒙古の指導者溥儀の建議として大いに榮え、數百人の日本人も入りこんでゐたが、事變後支那兵の掃蕩に遭ひ、今は見る影もなくさびれてゐる。

こゝから山岳地帯に入るが、それを越えると二、三千里の大草原で、もう細くなければ支那家畜もなく、純然たる蒙古である。いたるところ牛、馬、羊、山羊の群が見られると共に、鹿、狐、狼、野馬、野羊の野生動物が、トラクトの前左右にしばしば出没する。特に羚羊は數千、數萬の大群をなし、それが移動する姿は、文字通りに丘が動いて行くやうで、素晴らしい壯觀である。西蘇尼特の王は、王府のほかには壯麗なるラマ廟、兵舎、蒙古軍官學校及び附屬幼年學校がある。教官は滿洲の興安軍官學校を出た蒙古の青年將校で、瀧かすびの沙流を經て外蒙につづく自然の大練兵場で、日本式教練を行つてゐる。それにいつ誰か支那收買兵や外蒙兵が襲撃してくるかもしれないので、この邊一帶は非常に緊張して、王府を中心に數十里にわたり、毎晩非常警戒を行つてゐる。

人口は極めて稀薄で、五、六キロ行つて三つ四つの包を見る程度である。生活程度は低いが、かれらは苦つて無感である。家畜は草を食つてひとりで成長する。それを賣つてメリケン粉、布、茶、燻草、裝飾品等を買ひこむのであるが、取引はすべて支那人の手で行はれ、蒙古語では商人は「噶子」を意味し、ひどく輕蔑されてゐる。

容貌や言語の上からいつても、かれらは支那人に比して遙かに日本人に近い。氣質も單純素朴であり、勇猛果敢である。一緒に生活してみると、實に善良なものである。

かれらの對日感情は至つてよく、どの包を訪れても「日本人」といひさすれば、直ちに招入れて正座にすま、乳でつくつた酒や菓子を出して歡待してくれる。それが決して打撃に受けてゐないので、全く鎮靜がいゝが、衣服や食器類を洗ふといふことを知らないで、不潔なものには閉口する。それにかれらの間における花柳病の蔓延は驚異すべき現象である。

しかし今や蒙古も、日本の興へる利便と援助と指導のもとに、次第に目覚めつつある。日、蒙、支をめぐつて近き將來に迫りつつある新しい物語、アジアの風は、恐らくこの邊を中心に捲き起つてくるのではないと思ふ。

(大宅 壯一)



西蘇尼特に在る王王府。新時代の蒙明はこゝらさきさき、新獨立の蒙民は、東に西に散居し、つひに蒙古聯盟自治政府の誕生をみるといはれた。

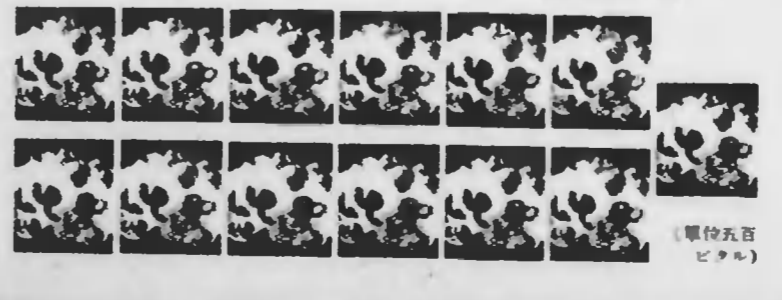


蒙の未來は、北京の王の、ウラサハ、日本人、今指圖日本今の研究、日本領の獲得に、蒙の熱情を傾けてゐる。この九月には來蒙する予定である。

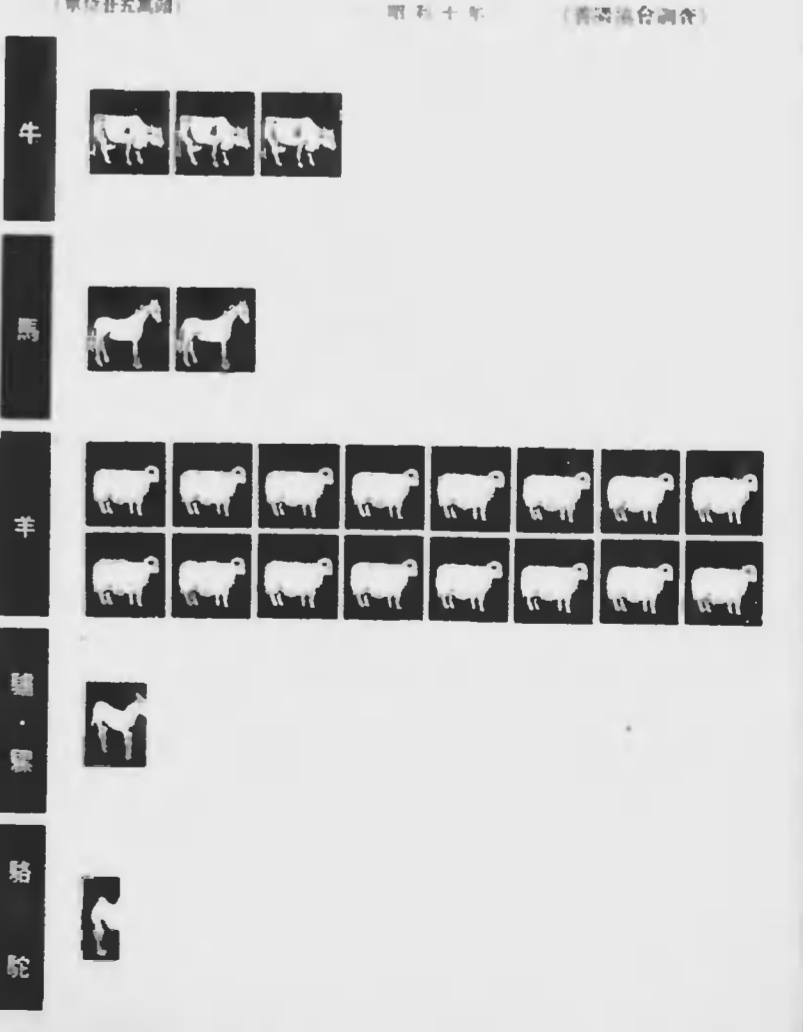
内蒙古、石炭



内蒙古、羊毛年産額



内蒙古、家畜頭數





□ 昨年十月皇軍の協力を得て、多年漢蒙兩民族を壓迫してゐた支那軍閥の掃蕩に興起、縱遠、包圍をまたたく間に占領し、蒙古を！と支那軍を畏怖させた、勇猛蒙古軍の颯爽たる英姿。

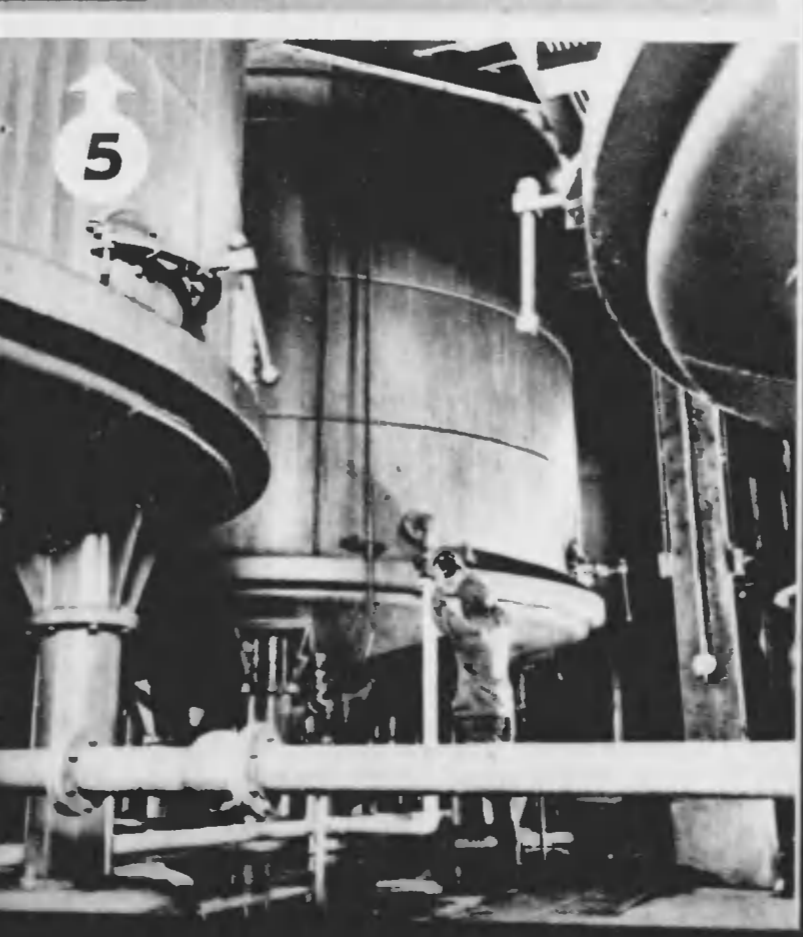
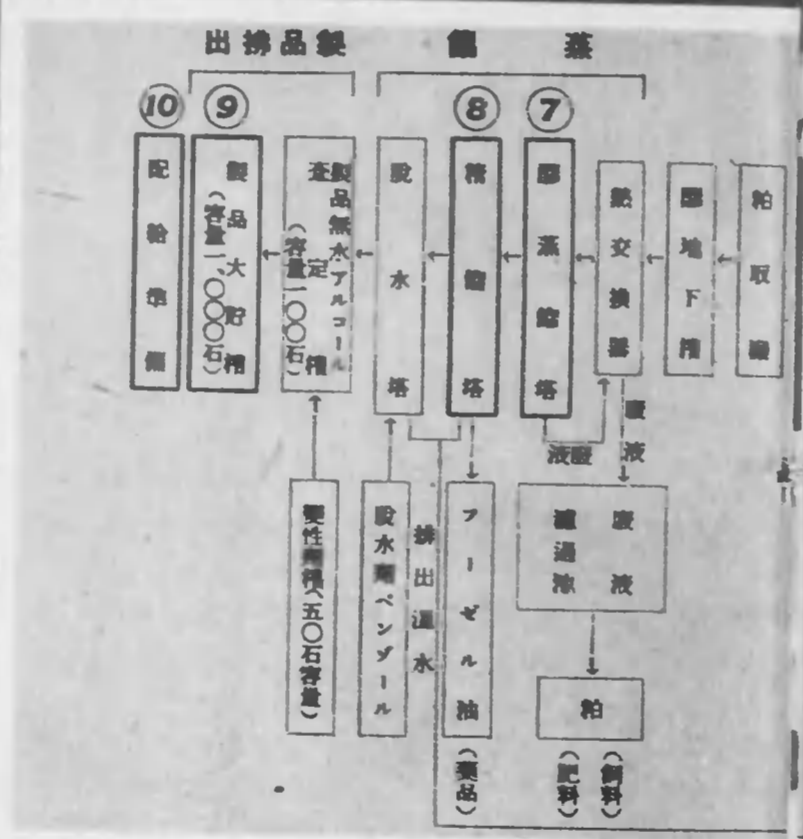
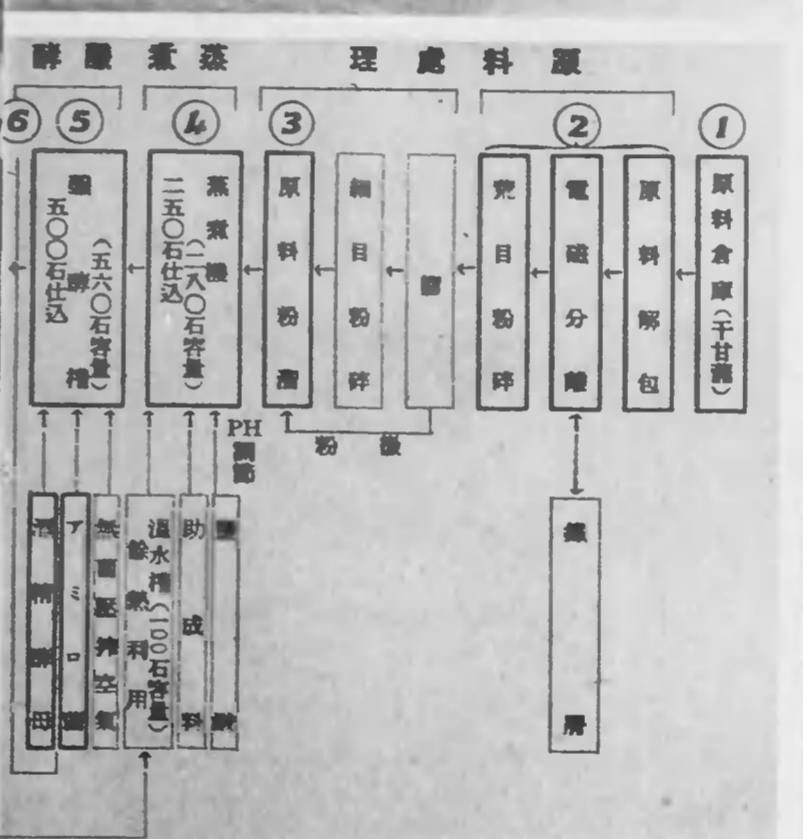


□ 「起ち上る蒙古」の指導者となる蒙古軍官学校生徒は、太陽の子の軍に學んで、新興蒙古の中堅となるべく、炎熱に鍛えてゐる。支那軍閥を一掃、いま赤色外蒙に備へる蒙古軍、ジギスカン生涯の地に、譲へるは祈しき親邦の旗、とよくは、萬民歡呼の聲。



□ 精悍、全亞細亞を遊撃した往時の軍國蒙古は再建された。徳王府には蒙古軍官学校附屬幼年學校が開設され、號令も日本語で、日本式軍事教練をうけてゐる。兵訓練中の内蒙古漢民族青年。







山形村

わが國の山村はこれまで幾多の經濟的試練に遭つてゐる。しかし試練に負けてはならない。今こそ奮起すべき時である。ただ山に安んじ、材木の儲か下つた、人手が足りぬと徒らに嘆いてゐるべきではない。何處に窮乏の原因があるか。何處に改善の餘地があるかを検討して、更生計畫を根本的に立て直さうではないか。

こゝに窮乏のどん底から見事更生した東吾野村が、今日の更生の道に迷ふまで何を計畫し、何を爲したかをしらべてみようではないか。

東吾野村

埼玉縣八潮郡東吾野村は外狹谷を流れる高麗川に沿つて賑々と散在する山村である。戸數四百三十六戸、人口二千五百五十人、面積約二千町歩の内、山林七百六十町、水田二町八反、畑地百七十町、畑地の五割が粟となつてゐる。

耕地らしい耕地もなく、従つて村民はこれら山林の牧畜と薪炭を主業に、秋田産の栗を副業に、細々と生活をつとめて来たのである。が世界大恐慌襲來した翌年、栗は假借なくこの僻村にも猛威を振ひ、その上、關東大震災後の林業界の大混亂は、木材の價格を最高價の五分の一に引落し、薪炭加工の業内業者は薪炭工業の發展に伴つて休業しなければならぬ状態に立ち至り、昭和五年ころにはこの山村は全く窮乏のどん底に陥つたのであつた。

更生への道

これではいけない、何とかしなければならぬ、と立ち上つたのが現村長淺見保太郎氏、小學校教頭田原作氏、當時の村長

木馬道
深い山から重く木材を運び出すには非常な努力が要する。木馬道はこの努力を軽減するために勾配を平均して、鐵道の枕木式に枕木を敷設し、木材運搬用の特殊道路で、木馬(棧)はすべりの良い枕木の上を、積んだ木材の重みで容易に運ばれて行く。



加藤三郎氏、その他の先覺者たちであつた。何か貧困の原因があるか、何か窮乏の原因があるか。それはかうした僻村、林業にも、副業にも、又副業にも、各戸別々小さな經濟單位で、しかも昔からの舊式な經營法を固執してゐるからである。これが原因である。山山村の根本的更生は、どうして村全體の組織化による計畫經濟を實行しなければ絶対に成功しないか。これが先覺者たちの結論であつた。かくて昭和五年「東吾野復興會」を設立、村内の家業を一つ一つに調査し、調査結果を基に、村の復興を期す。村長の指導の下に、村長以下先覺者は協力、村民に計畫經濟の必要を力説して進んだのであつた。

經濟更生五ヶ年計畫

昭和七年十月、縣から經濟更生指定村に選ばれた。新たに「經濟更生委員」を組織、いよいよ本格的に更生計畫に乗り出すことになり、まづ村全體の調査別業調査會が二月間にわたつて調査に行はれ、その調査に基づいて、適度な經濟更生五ヶ年計畫が立案された。

その實行組織としては四十名の委員から成る經濟更生委員會が中心となり、村長會、産業組合と密接な連絡をとるとともに、その下に教育、農業、林業、畜産、商業、金融、衛生、福利、生活改善の九部を置き、各部署は計畫經濟の直接指導、監督にあたり、また各部署には更生組合を組織して、實行

單位の各戸を組織して個人即組合の實行組織とした。かくて昭和八年四月二十一日、東吾野小學校に各村民を集めて計費内容を詳細に説明した上、神前に於て實行の宣誓式を行ひ、即日全村民一致協力大計畫の實行に移つたのであつた。

更生計畫の實行とその成果

五ヶ年計畫は今年の四月に完了した。果してその實績はどうであつたか。昭和七年度の各村の現金収入二十萬六千余圓は、昭和十二年度には三十五萬九千余圓に増加した。その重要な内訳をあげれば、

昭和七年度	昭和十二年度	
林業	五〇、〇〇〇	八七、七〇〇
畜産	三九、〇〇〇	六七、五〇〇
商業	三、〇〇〇	二〇、〇〇〇
農業	四、〇〇〇	三〇、〇〇〇
副業	四、〇〇〇	九二、〇〇〇
預貯金	三、八〇〇	一五、六〇〇
負債	三、八〇〇	四、四〇〇
純利益	三、〇〇〇	六〇、〇〇〇

かうした見事な結果を挙げることが出来た五ヶ年計畫にはどんな内容が盛り込まれて、如何に實行されたか。その手続たものを取上げてみよう。

林業 産業別に林業の發達にはまづ道路が必要である。その意味から牛馬道、林道、木馬道延長約二十キロを敷設。この完結によつて従來木材の運搬十萬圓に對し三萬圓を要した運搬

共同牧場所
統一した畜種を全村同時に播立せるから畜種の出来上るのも全村同時だ。

各家庭で取れた糞をお内儀さんや、學童がリヤカーに積んだり、背負つたりして、こへ運んで來ると即金で飼代が支払はれ、山と築まつた糞は次から次へトラクタで共同出荷される。

實が二萬圓に達した。又山林經營の改善にはまづ道路の改良からはじめて、従來開墾されてゐた開墾、枝打ちを實行したため昭和七年度までの山林、町歩の一ヶ年平均地産量、〇〇圓が、今日では一五〇圓に上つてゐる。

副業 副業を改良し、従來戸々別々であつた副業を組織しなければ實績は上らない。そこで全村組織の共同副業を行つて、品質を統一し、これを共同銷售所(協同會社)に納入して賣る所)で同時に精製して、各戸に配布し、四人の指導者も専任した。この方法を指導する。そして出来た副産物四ヶ所の牧場所)に集めて共同出荷する。

畜産 主として養豚であるが、従來品種が不良であつたのにかんがみて、農林省及び縣の種畜場から種豚を購入して良種の繁殖をはかつた結果、その収益は計畫獨立以前の約六倍といふ驚異的發展をみるやうになつた。

商業 家内工業の全滅によつて病んど全く職を失つた女子に副業を興へることは更生計畫の重要な部門であつた。昭和十年、更生委員苦心研究の結果、陸軍被服廠から羊毛皮の断片の掃下けを受け、これを加工する講習會を二ヶ月間にわたつて開き、防衛員製造の新製法を興したのであつた。この新製法は見事成功し、昭和十一年度には製品八千七百餘圓を製造し、その加工賃約三千圓になるやうになつた。

教育 昨年十月、縣廳からこれまでの掃下け断片で、軍用防具製造の部分製造を命ぜられたので、被服廠はこのときと全村民女子を總動員、各戸所に共同作業場を新設して、重労働を担はせ、この他、蠶桑の共同講習場を開設し、蠶出する小蚕を利用して一ヶ年百石の蠶糸を製造し、各家庭に配給し、又畜産の副業としての飼料の供給、林業の副業としての薪炭の製造があり、村民に選んでる手は完全になつた。

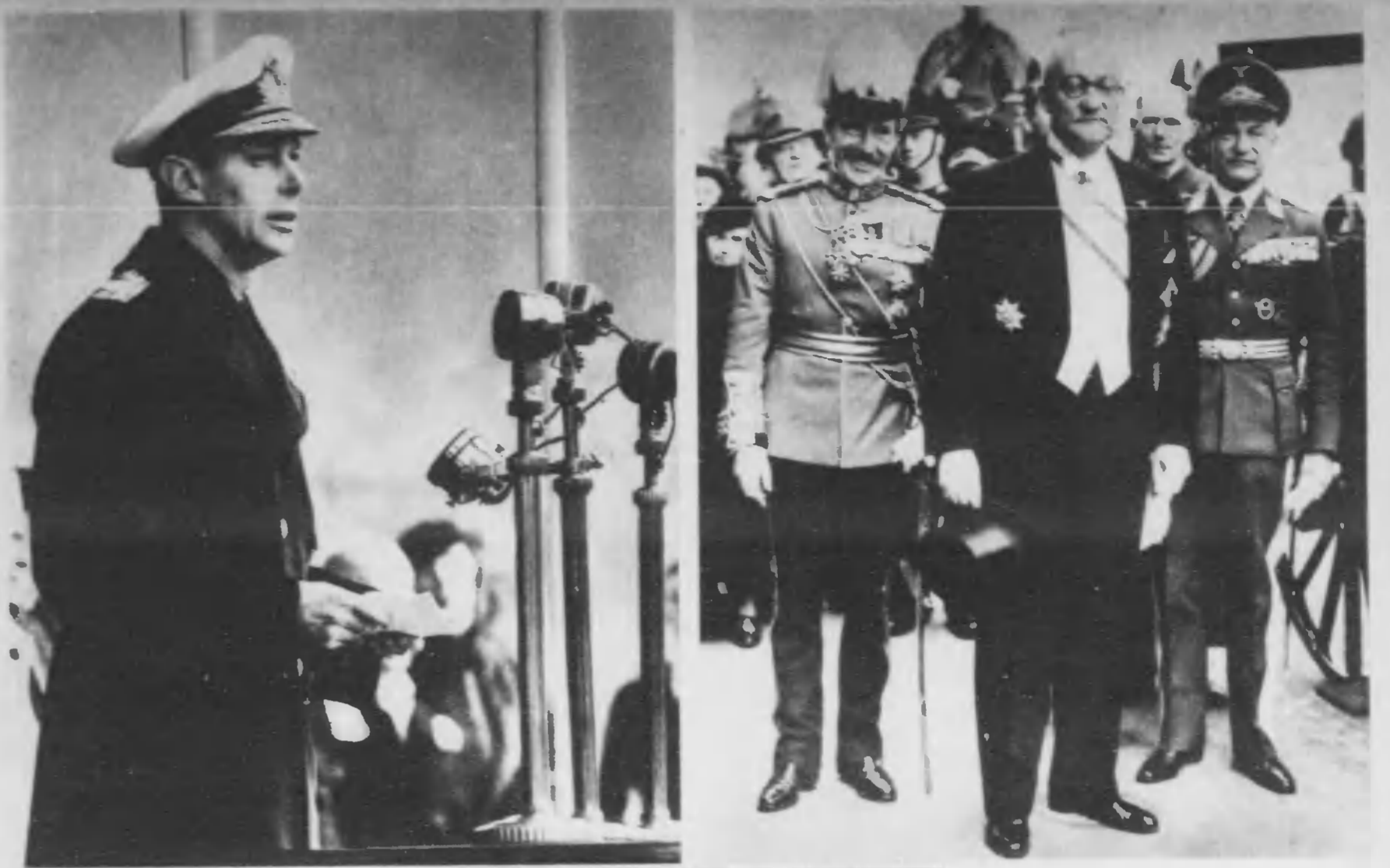
共同購入 水田が二町八反しかないこの村では、如何にして販米を安く購入するかといふことが大問題である。それは産業組合を通じて共同購入するのが最善の方法であるから、まづ村内二十の更生組合、産業組合とが密接な連絡の下に、毎月三回各戸の米及び飼料肥料等の需用數量を取まとめ、各實行組合に通告する。すると、産業組合からは更生組合の物資供給所に送り、そしてこれらの更生組合で集金して納入する。

衛生 更生計畫の進行にはまづ排他的な、個人主義的な従來の思想を清算して、國民共助、共存共榮の精神に上らなければ絕對に村の組織化は行はれない。この意味から教育所裏である小學校を中心とし、更生計畫の成功を第一の反對論の説得、又次代の村を担ふべき、小學生、男女青年の教育に没ぐまい、努力が拂はれたのであつた。



第二次五ヶ年計畫

一村總動員の努力は實を結んだ。第一次五ヶ年計畫は、かくて預期以上の成績をあげて完了し、今年四月、第二次計畫の成績を精細に検討して、更に第三次五ヶ年計畫を立案し、いよいよ更生の實をあげるべく第二次の實行に入り、全村民各各その業にいそしんでゐる。



方彼の海

英帝スコットランドへ
 英國ジョージ六世陛下には皇后陛下御同伴にてスコットランド・グラスゴー
 で開催される英帝博覧會開會式に御臨席マイクロフォンを通じ博覧會開會の
 辭を送られた。



ドイツ駐英大使に
 駐日獨逸大使としてわが國滞在中日獨
 兩國關係の親善に多大の貢獻をして歸國
 したハバート・デイルクセン博士は今
 回リッペン・トロッツ氏現外相の後任とし
 て駐英大使に新任され、英國皇帝に親任
 狀を奉呈した。

ヒトラー總統を迎へる柏林市民
 世界の注視を集めて、ムツソリーニ首
 相と會談、獨逸領袖を更に強化したヒト
 ラー總統は、ワグネル門通りを埋
 め盡す市民の大歡呼に迎へられて五月十
 日柏林に歸着した。

(同盟通信社)

所 込 申	價 定
寫眞週報配送部 東京市豊町區内幸町二二〇 電話四六六一五 支店 東京市豊町區三三〇〇番 支店 東京市豊町區三三〇〇番	一 部 十 錢 一ケ年(前金)四圓八十錢 <small>(送料不要) 送料は八圓九十錢</small>
全國各地官報販賣所 東都書籍株式會社 最寄書店・驛賣店 各地新聞販賣所 寫眞材料店	一ケ年分未滿配送御希望の 方は一部十錢の割合を以て 前金を添へ御申込み下さい

寫眞週報(禁煙)
 昭和十三年六月二十九日印刷發行
 發行所 内閣情報部
 東京市豊町區本町
 印刷所 大日本印刷株式會社
 東京市豊町區本町
 加賀町一、二番

本誌は「寫眞週報」の一助にもと
 考へ、出来る限り紙面を開放し諸君
 のカメラを動かし、優秀な技術を持つ
 てゐる。題材は内外發射、國策の宣
 傳に關するものなら何れでもよい。
 例へば街にも田圃にも、或は工場、
 家庭、學校など到着所に在る諸君の
 聲ひ、國民精神の發揚、或は季節
 節と世相の面白い組合せなどはどう
 せう。一枚の寫眞でも數枚ひと組
 の組寫眞でもよく、締切日は決定せ
 ず、レイズはキリシメ以上、掲載
 の分には謝辭又は記念品を贈呈し、版
 権は當部に屬するものとす。
 原稿作品は一切返却せず。
 内閣情報部

國際海運戰に

躍進日本の威力を示す

郵船の船隊

日本郵船

北支へは近海郵船
北嶺丸、南嶺丸にて

掲載写真は桑港オークランド灣橋下通過
各國商船の第一船たる郵船龍田丸

